

モリサワが提供する

UDフォントの社会的役割

株式会社モリサワは、より多くの人に読みやすいことを目指したUD(ユニバーサルデザイン)フォントをご提供しています。

今回は、法改正による義務化によって注目を集める事業者の「合理的配慮」などについて、背景や当事者の声をご紹介しながら、その課題解決をお手伝いするUDフォントの各種サービスをご案内します。



Morisawa Magazine

2024 Autumn
issue 21

モリサワの情報をお届けする
モリサワマガジン

合理的配慮の義務化の背景

日本では、内閣府の政策として共生社会の実現を目指しています。共生社会とは、年齢や性別の違い、障害のあるなしに関わらず、誰もが安全に、安心して、困った時には助け合える社会です。

国の取り組みの一つとして「障害者差別解消法」*が改正され、令和6年4月1日から事業者による障害のある人への「合理的配慮」の提供が義務化されました。

「合理的配慮」の例として、車椅子で移動するための配慮、弱視や難聴によって困難になる意思疎通への配慮など、生活のしづらさや、働きにくさとなるバリアを取り除くことがあります。当事者が不在になることなく、障害のある人と事業者との間で「建設的な対話」を行い、お互いの事情の理解に努めて、一緒に対応方法を検討することが重要です。

※正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

出典:「令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されました」(内閣府)

COLUMN LD(ディスレクシア)当事者の声

合同会社 Ledesone 飯野さんのコメント



中学・高校の教科書やプリントは明朝体だったので、文字が読めずに苦労しました。大学に入って学生支援課の先生に「UDデジタル教科書体」を勧められ、「こんな読みやすい書体があったんだ!」とびっくりしました。明朝体はかすれ声、ゴシック体は怒鳴り声、UDデジタル教科書体はアナウンサーの声のように感じます。自分は書体によって読みやすさがこんなにも違うんだ! と気づき、今は自分用のノート記述や資料作成はもちろん、WebもUDデジタル教科書体に変えて読んでいます。

フォントにできる「合理的配慮」

果たしてフォントにも「合理的配慮」としてできることがあるのでしょうか? 弱視やディスレクシアなど読みに困難さのある人のために、見やすく、読みやすい書体を日常的な文書に使うことは情報を得やすくするための配慮となります。また聴覚に困難さのある人にとっては、視覚から入る文字情報が重要であり、たとえば災害に備えた注意喚起文に大きなフォントサイズの文字を使うことは安全への配慮になります。より多くの方に見やすく、読みやすく開発されたUDフォントを使うことで、合理的配慮をさらに効果的に実施することにもつながります。

また、「障害者差別解消法 合理的配慮の提供等事例集」(令和5年4月 内閣府)では、フォントにできる合理的配慮の事例が掲載されています。合理的配慮の一例として、フォントの有用性が注目されています。

「障害者差別解消法 合理的配慮の提供等事例集」より

P.65事例 弱視の方などが文字を読みやすいように工夫した例。商品パンフレットは、ユニバーサルデザインフォントを使って作成した。

P.56事例 文字を認識することに困難があるため、テキストに記載されている文章を読むことができない。認識しやすいフォントを使うようにするとともに、必要に応じて読み上げたり配付資料をテキストデータ化し音声読み上げが可能となるようにした。

P.8事例 通常のテスト問題用紙では印刷された文字が小さくて、弱視のため読むことができない。当該児童生徒の見やすいフォントを確認し、ポイントを上げてテスト問題用紙を作成した。また、弱視レンズや拡大読書器などの視覚補助具を使用できることとした。



UD フォントとは

より多くの人に「文字の形がわかりやすい」「文章が読みやすい」「読み間違いにくい」ことを目指したフォントです。

モリサワが考える「UDフォント」は、多数派の読みやすさを対象にしているのではなく、今まで放置されてきた弱視や発達障害など少数派の読みにくさにも配慮し、多数派の読みやすさも大きく損ねないバランスで作られたという意味です。

1985年にロナルド・メイス氏が提唱したユニバーサルデザイン「文化、言語、国籍、年齢、性別、障害の有無、能力差など問わず、より多くの人々が利用できることを目指したデザイン」の概念に基づき、フォントでも「誰一人取り残さない」を実現したいとの想いを込めてUDフォントや、UDフォントが便利に使えるサービスを提供しています。

◎ UD 書体の実験・研究・エビデンス(科学的根拠)

モリサワのUDフォントは、目的に応じた現場のヒアリングだけでなく、第三者学術機関によるさまざまなUDフォントの実験・研究、および、読みに困難さを抱える当事者を含むユーザー評価による「読みやすさのエビデンス」があります。



◎ 公的機関によるアワード受賞歴

モリサワの「UDフォント開発と普及促進」の取り組みは、主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構(後援 文部科学省)による2023年度「STI for SDGs」アワード優秀賞を受賞しました。

【選考委員会による受賞理由(抜粋)】

本取り組みは、視覚認知に困難を抱える人々のさまざまなニーズに焦点をあて、当事者が間違いやすいポイントを丁寧に抽出している。UDフォントの普及は、主としてSDGs 目標4、3、11達成への貢献が期待できる。



UD フォントを使うには?

| | おすすめ製品 | 製品のポイント | 使用環境 | 価格(税込) | 製品詳細 |
|----------------------------|----------------------------|---|------------------------------|--|------|
| Microsoft Office で使うなら! | MORISAWA BIZ+ | BIZ UDフォントやUDデジタル教科書体(学習指導要領準拠)など、全58書体のUDフォントを収録 | Word, Excel PowerPoint など | フリープラン 無料 1ヶ月プラン 330円/月 1年間プラン 3,960円/年 | |
| Adobe 製品 で使うなら! | Morisawa Fonts | 日本語から英中韓をはじめとする多言語 UD フォントを含む、OpenType フォントが使えるプロ仕様(書体により最大23,060文字: Adobe-Japan 1-7規格対応) | Illustrator InDesign など | フリープラン 無料 スタンダード 64,240円/年 Select24 43,560円/年 Select8 26,400円/年 | |
| | Select Pack | | | ライセンス購入(使用期限なし) 1書体/22,000円~ | |
| | TypeBank Select Pack | | | ライセンス購入(使用期限なし) 1書体/16,500円~ | |
| Webの文字表示 で使うなら! | Morisawa Fonts Web フォント | Webアクセシビリティにも有効なUDフォントを各種プランに合わせて選べる | Webブラウザ | 1,200万PV/年 66,000円~ | |
| | TypeSquare スタンダードプラン | | | 4書体~ 2,750円/月、33,000円/年~ | |

COLUMN 読書バリアフリー法

2019年6月施行、文部科学省・厚生労働省による「読書バリアフリー法」*においても、フォントの有用性が注目されています。この法律は、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられ、読書できる社会の実現を目指しています。肢体不自由や視覚の困難さなどに応じて、一人ひとりが利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるように、例として電子書籍のページ捲りや音声読み上げ、フォントの文字の見やすさ、読みやすさも大切な要素とされています。

*正式名称「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」

出典:「誰もが読書できる社会を目指して - 読書のカたちを選べる『読書バリアフリー法』」(文部科学省・厚生労働省)

邦文写真植字機発明100周年 特設サイト

モリサワは2024年7月24日に、創業者 森澤信夫による邦文写真植字機の発明から100周年を迎えました。その歴史を振り返るプロジェクトの一環として特設サイトを公開しています。写植機誕生の歴史や、構造紹介などのコンテンツをお楽しみいただけます。



フォント男子!

業界初!? フォント擬人化コメディ漫画!

Webコミックサイト「ヤングエースUP」にて無料掲載中!



お問い合わせ・ご要望は コーポレート・ブランディング部広報宣伝課 E-mail: pr@morisawa.co.jp

WebサイトでのMorisawa Magazine閲覧は www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news



●今号のフォント 本文: UD新ゴNT (AP版) L / R / DB、UDデジタル教科書体 R 見出し: UD新ゴ (AP版) DB、UD新丸ゴ M / DB / B、UDデジタル教科書体 B、Clarimo Rounded UD PE DemiBold